

(スマート次世代医療) ---医療の各部門における安全で良質な技術の普及

日本医療安全工学・情報学会(JMSEI)

理事長 酒井亮二

この度、日本医療安全工学・情報学会を設立しました。

18 世紀の産業革命を通じて、高度に発達した様々産業技術も他方では様々な事故が発生しました。そのために、産業革命の当初から産業技術の安全研究が工学と医学において勃興しました。医学には産業医学、職業医学が担当して、200 年以上の歴史があります。

21 世に入って、深刻な医療事故が各国で社会問題化し、過去の安全技術学(ヒューマンファクターズ、リスク学)を中核ツールとして医療における安全文化の開発がされてきました。

しかしながら、医療における事故は後を絶たず続いています。

医療は膨大な情報の海で、多種多様な従事者が日々に膨大な情報戦の世界にいます。医療における膨大な情報が事故の原因でもあります。例えば、

口頭だけの情報交換 …理解しづらい、聞き逃し、忘れ

多職種間で情報共有を話し合いだけ行う … 振り返りができない、本当に理解したのか

取り違え … 患者取違い、手術部位取違、医薬品取違

監視業務ミス

投薬ミス

膨大な医療の最新知見の見逃し

診断ミス

不安全行動 … 危険情報の無視

この一部の例にみるような医療の各部門における情報のリスク問題に対して、DX と人工知能などの情報技術の開発のために、産官学共同の討論・交流を促進することも、本学会の使命です。